

Press Release

March 14, 2024 | ID: 100287

ボルボ EX30 のライフサイクルアセスメント、ボルボ EV 史上 最少のカーボンフットプリントを実証

本プレスリリースは、3月14日スウェーデン本社発の翻訳版です。

ボルボ EX30 は、ボルボの EV 史上最も少ないカーボンフットプリントを実現しました*1。ボルボ EX30 の[ライフサイクルアセスメント\(LCA\)](#)によると、20万 km 走行あたりのカーボンフットプリントは 23 トンで、XC40 ICE (内燃エンジン搭載車両) よりも約 60% 少ないと明らかになりました*2。

カーボンフットプリント・レポートでは、自動車の排出量の主な要因となる材料と工程を特定しています。温室効果ガス(GHG)排出量に特化したこのレポートは、原材料の採掘・精製から車の廃車までの自動車のライフサイクルを対象としています。

EX30 の充電に風力ベースの電力を使用することで、世界や欧州の電力ミックスと比較して、カーボンフットプリントをそれぞれ約 42%、約 22% と大幅に削減できます*3。同時にこれは、EV が気候変動に対するポテンシャルを最大限に発揮するために、世界的に再生可能エネルギー・インフラへの投資を加速させる必要があることを示唆しています。

ボルボ・カーズの気候変動対策責任者であるヨナス・オッテルハイムは、「EV への移行は気候変動を抑制する鍵です。EV の排出量のさらなる削減のためには、その課題について透明性の向上が求められます。EX30 のカーボンフットプリントを調査し、その主要因となる材料とプロセスを特定することで、私たちはより持続可能な社会の実現に向けた社内の、そして業界内での意思決定を助ける貴重な洞察を提供することを目指しています」と述べています。

このたび、2019 年以降に発売した EV の XC40 Recharge、C40 Recharge、そして今回の EX30 の 3 車種について、カーボンフットプリントの包括的な LCA を完了しました。これらのレポートを一般に公開することで、お客様が次の EV を選択する際に、十分な情報に基づいた意思決定を行う一助となることを願っています。

温室効果ガス排出量ネットゼロに向かうための重要な一歩

自動車は運転されるだけでなく、設計され、開発され、生産され、輸送されます。その一連の過程において、温室効果ガス排出量を削減し、サステナビリティ目標の達成に向けて改善するための多くのチャンスがあります。EX30 によって、私たちは 2030 年までに完全な EV メーカーになるという目標、そして 2040 年までに温室効果ガス排出量をネットゼロにするという目標に向けて重要な更なる一歩を踏み出しています。

EX30 に使用されているリサイクル素材の割合は、これまでのボルボ車の中で最も高くなっています。アルミニウムの約 4 分の 1、スチールの約 5 分の 1 がリサイクル素材です。さらに、インテリア部品からエクステリアバンパーに至るまで、車内の全プラスチックの約 17% がリサイクル素材で作られています。

ボルボのサプライチェーンと製造における取り組みにより、LFP バッテリーを搭載した EX30 の“クレイドル・トゥー・ゲイト”のカーボンフットプリントは推定 14.8 トンで、EX30 のカーボンフットプリント全体の 60% 強に相当します*4。

この排出量には、材料や車両の生産時に発生する排出量は含まれますが、EX30 の使用時と廃車の段階での排出量は含まれません。

私たちは、バリューチェーン全体のサプライヤーと協力することで、EX30 の CO₂ の影響をさらに削減する予定です。例えば、私たちのバッテリーサプライヤーは、2025 年までに LFP バッテリーの製造による排出量を 20%、NMC バッテリーの場合は 46%削減することに取り組んでいます。そのために、サプライヤーはセル製造時に使用する電力を再生可能エネルギーに置き換え、材料に含まれるリサイクル素材の割合を増やし、サプライチェーンの排出量を削減することを目指しています。

EX30 の生産は 2023 年 11 月に開始され、最初の車両は昨年末に欧州市場にてオーナーとなるお客様に引き渡されました。これまでに EX30 は、News UK Motor Awards の Small SUV/Crossover of the Year、Carwow Car of the Year 2024、TopGear.com Awards 2023 の Eco Warrior of the Year、The Sun の Car of the Year など、名誉ある賞を多数受賞しています。

*1 ボルボの EV 史上最も少ないカーボンフットプリントは、グローバルに販売されている車両において使用段階で同じエネルギーミックスを使用した際の 20 万 km の走行に基づくものです。

*2 シングルモーターに LFP バッテリー (51kWh) を搭載し、EU28 の平均的なエネルギーミックスを使用して、15 年間、20 万 km 走行した場合。

*3 シングルモーターに LFP バッテリー (51kWh) を搭載し、EU28 の平均的なエネルギーミックスを使用して、15 年間、20 万 km 走行した場合。

*4 シングルモーターに LFP バッテリー (51kWh) を搭載し EU28 の平均的なエネルギーミックスを使用して、15 年間、20 万 km 走行させた場合。

※ LFP バッテリー搭載モデルは現時点では日本未導入です。

2023 年のボルボ・カーズ

2023 年通年で、ボルボ・カー・グループは、256 億 SEK の記録的な営業利益を計上しました。2023 年の売上高は過去最高の 3,993 億 SEK、世界販売台数は過去最高の 708,716 台に達しました。

ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは 1927 年に設立された高級自動車ブランドの一つであり、100 カ国以上のお客様に販売されています。ボルボ・カーズはナスダック・ストックホルム証券取引所に上場しており、「VOLCAR B」のティッカーで取引されています。

ボルボ・カーズは、お客様にパーソナルで持続可能かつ安全な方法で、「Freedom to Move (移動する自由)」を提供することを目指しています。これは、2030 年までに完全な EV メーカーになるという目標と、2040 年までにクライメート・ニュートラルな企業になるという目標のもと、二酸化炭素排出量を継続的に削減するというコミットメントに反映されています。

2023 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 43,400 人です。ボルボ・カーズの本社、製品開発、マーケティング、管理部門は主にスウェーデンのイエーテボリにあります。生産工場は、イエーテボリ、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ(米国)、成都、大慶、台州(中国)に所在しています。また、イエーテボリ、上海(中国)には研究開発およびデザインセンターがあります。

報道関係問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン広報事務局

volvo-pr@prap.co.jp

TEL:03-4580-1024 (問合せ対応時間:平日 10:00~18:00)

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2024 Volvo Car Japan Limited